

## 2019年度 第三者委員会のまとめ

さくらんぼ保育園

今年度は、6月、10月、3月の計3回実施した。主な内容は、園に寄せられた苦情・要望（保育園に関するアンケートを含む）について、園運営に関して、第三者委員より指導助言をいただいた。

2019年度は2件の苦情が寄せられた。内容は、職員の対応と子どもの嘔みつきに関することだった。職員の対応については、保育園は公の場であることを自覚すると、おのずと適切な立ち居振る舞いが見えてくるという助言をいただいた。それをもとに全職員で話し合い、職員一人一人が自分のこととして振り返りながら、保育士としての適切な言動について考える良い機会となった。子どもの嘔みつきについては、保護者の思いを聴く対応が迅速丁寧にされたことで保護者も理解納得できたのではないか。同時に、保育者の関わりを見直し、子どもの発達と保育の手立てを改めて学び実践していくことを確認した。

保育園に関するアンケートは、87.7%の回収率だった。例年より回収率は低かったものの、昨年度に比べると評価が上がっている項目が多かった。どんな意見も、子どものため、より良い保育のためという思いのもと寄せられていることをありがたく真摯に受け止め、保育内容や質の向上に努めていく。

園運営に関しては、今年度は大きな行事が天候や感染症流行に左右され、実施や中止（延期）の判断に迷うことが多かった。しかし、第三者委員より、園として危機管理上やむを得ずの判断をしなければならぬこともあるが、どんな場面においても“子どもにとって”を最優先で考えてきたことがどの行事からも伝わってきたという言葉にとっても励まされた。

また、給食副食材費の実費徴収に伴う業務の多忙煩雑化や待機児問題等、その都度保育情勢についても話し合いながら意見交流をしてきた。